

概要版

南大隅町 第3次総合振興計画

基本構想 2025年(令和7年) > 2034年(令和16年)

前期基本計画 2025年(令和7年) > 2029年(令和11年)



誰もが生き生きと輝き、
ともに成長する本土最南端のまち・南大隅町

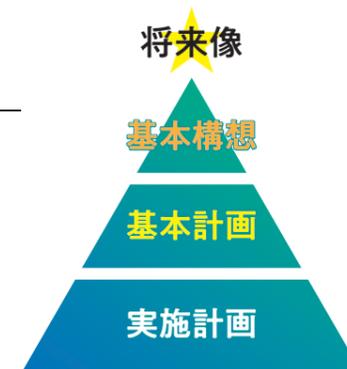
■ 総合振興計画とは

総合振興計画は、より良いまちづくりを総合的かつ計画的に推進するための町の基本方針としての役割と性格を持つものであり、町の最上位計画と位置づけられます。

■ 計画の構成

総合振興計画の内容は、まちづくりのビジョン（展望）を示す「基本構想」と、基本構想で示されたビジョンを実現するための施策を定めた「基本計画」があります。

そして、基本計画の施策を実現するための年次別及び部門別の事業計画である「実施計画」（過疎地域持続的発展計画）があります。



■ 計画期間

第3次総合振興計画は、目標年次を令和17（2035）年と想定し、令和7（2025）年度から令和16（2034）年度までの10年間を計画期間とします。

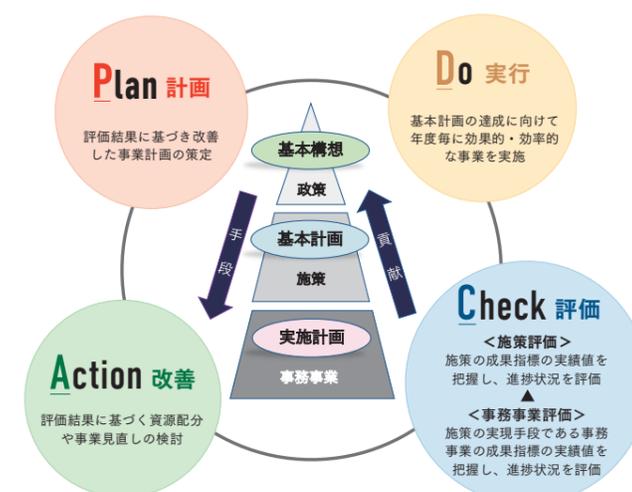
年度	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033	R16 2034
基本構想	10年間									
基本計画	前期基本計画(5年間)					後期基本計画(5年間)				

■ 総合振興計画の実現に向けて

(1) マネジメント（PDCA）サイクルに基づく進行管理

総合計画に掲げる将来像を実現する手段として、「※マネジメントサイクル(PDCAサイクル)」の考え方に基づく行政経営に取り組み、まちづくりを推進します。

(※施策体系を設定し、計画(Plan)を策定、その計画に基づいて、予算が配分され事業を執行(Do)し、施策の目指す姿が計画どおりに達成できているかどうかを、成果指標を活用して評価(Check)し、その評価結果に基づく資源配分や事業見直しの検討(Action)を行う事)



(2) 成果指標に基づく進行管理の手法

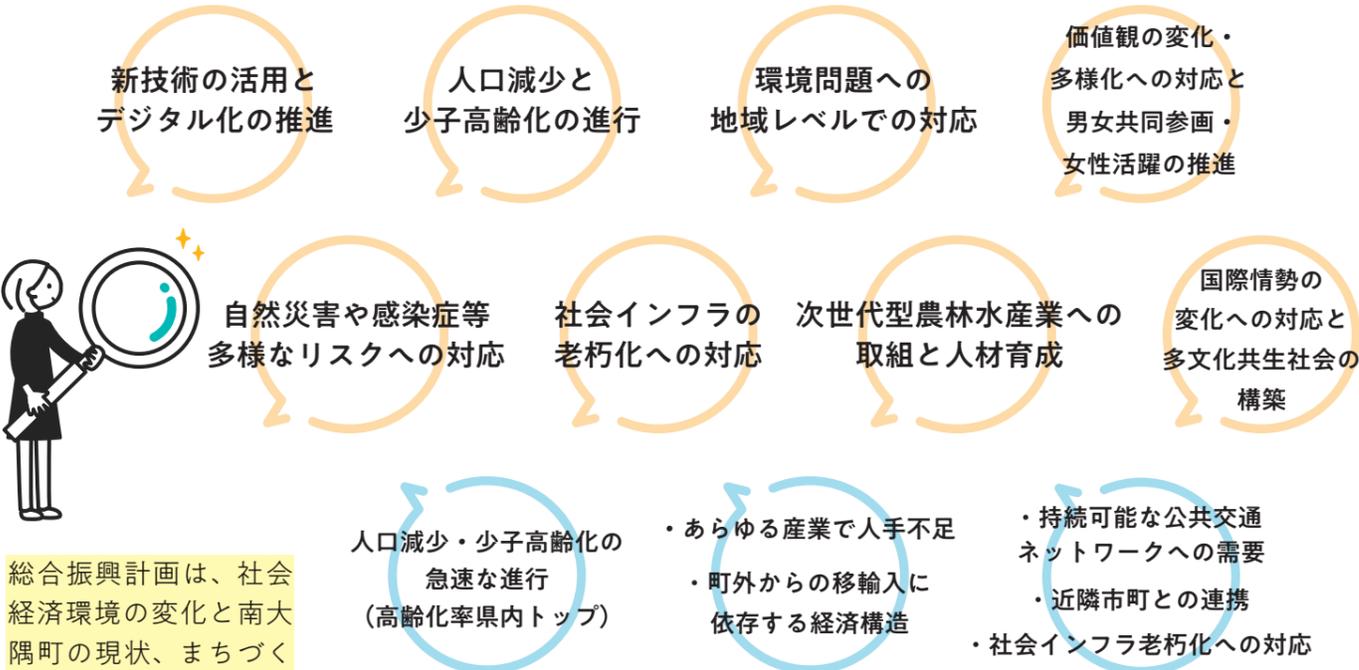
行政評価を活用したマネジメントの特徴として、成果指標を設定し、施策や事業の成果達成度を分かりやすく「見える化」することにあります。本総合振興計画においても、「施策」「事務事業」の施策体系の各階層に対して、目的達成度を示す成果指標を設定しています。

「施策」「事務事業」の各成果指標について実績値の把握を行い、これに基づく成果動向などの評価を行います。評価結果から、施策の成果達成に向けた課題を洗い出し、事務事業の実施方法に関する見直しや事務事業そのもののスクラップ&ビルドといった対策を検討します。

■ 社会経済環境の変化と南大隅町の課題

本町を取り巻く社会経済環境は大きく変化しています。これら社会経済環境の変化と本町の現状を踏まえ、まちづくりの課題解決に向けて取り組んでいきます。

社会経済状況の変化



総合振興計画は、社会経済環境の変化と南大隅町の現状、まちづくりの課題を踏まえ、今後のまちづくりの方針を検討しました。

南大隅町のまちづくりの主な課題

まちづくりの基本理念

次の3つの基本理念に基づき、まちの将来像の着実な実現を目指します。

基本理念①

町民の“安心・安全”の確保と“幸せ”の実現

行政の基本的役割を見つめ直し、町民の安心・安全を確保するとともに、町民が真の豊かさや幸せを実感し、生き生きと生活できるまちを目指します。

基本理念②

“持続可能な”まちづくりの推進

足腰の強い財政基盤の確保、多様な主体と連携したまちづくり、地球温暖化の防止や生物多様性の確保など、持続可能なまちを目指します。

基本理念③

“まちの活力と魅力”の創出

本土最南端という地理的条件や美しい自然、豊かな食といった地域資源と町民のもつホスピタリティ、固有の歴史・文化などの強みを磨き上げ、活用に向けてチャレンジし、まちの活力と魅力を創出します。

まちの将来像

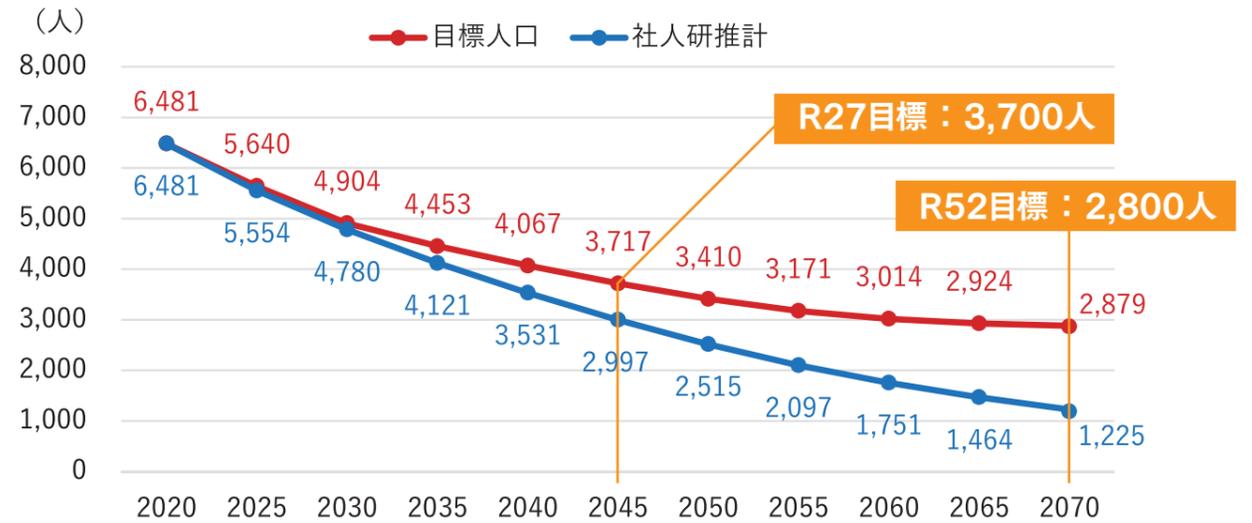
誰もが生き生きと輝き、ともに成長する本土最南端のまち・南大隅町

■ 目標人口

国立社会保障・人口問題研究所が公表した本町の将来推計人口をみると、総人口は令和7（2025）年には6,000人を下回り、令和27（2045）年には2,997人、令和52（2070）年には1,225人にまで減少すると推計されています。高齢化率、令和7（2025）年には53.0%と50%を超え、令和32（2050）年に58.6%まで増加し、その後、50%以上で推移すると見込まれています。

本総合振興計画では、人口減少に歯止めをかけ、また、進行する人口減少・高齢化社会でも持続可能なまちづくりを進めていくための取組を重点戦略（地方創生総合戦略）と位置づけ、目標人口を令和27（2045）年に約3,700人、令和52（2070）年に約2,800人と設定します。

【南大隅町の将来推計人口と目標人口推移】



■ 分野別基本目標

まちの将来像を実現するため、分野別の基本目標は次のとおりです。

まちの将来像：誰もが生き生きと輝き、ともに成長する本土最南端のまち・南大隅町

- 基本目標1 | 誰もが生き生きと働き、訪れた人が「また来たい」と思えるまち
- 基本目標2 | 誰もが健康で安心して「暮らし続けたい」と思うまち
- 基本目標3 | ふるさとを誇りに思い、未来を見据えて学び続け、誰もが幸せを感じられるまち
- 基本目標4 | 安全・快適で、誰もが「暮らしたい」と思うまち
- 基本目標5 | 多様な主体と協働し、時代を先取りする行政経営を目指すまち

将来像を実現するための取組を具体的に示したものが基本計画になります。実行性と弾力性を確保するために計画期間は5年間としており、前期基本計画は令和7（2025）～ 11（2029）年となります。施策体系図は次のとおりです。



基本目標1

誰もが生き生きと働き、訪れた人が「また来たい」と思えるまち

- 南大隅町は、本土最南端に位置し、豊かな自然環境や「佐多岬」、「雄川の滝」などの観光資源を有効に活用し、本町の基幹産業である**農林水産業のさらなる振興・育成**を図るとともに、地域資源を活用した農商工連携・6次産業化による新たな地域ブランドの開発など、各産業の**連携によって相乗効果を高め、産業全体で付加価値を向上**させていきます。
- 本町を訪れる人が「また来たい」と思ってもらうためには、町民一人ひとりが本町の魅力を実感し、元気で生き生きと働き、これを「町の魅力」として伝えていくことが重要です。この魅力を絶えず発信しながら、本町への移住者を増やす取組を実施し、観光振興を図ることで**関係人口・交流人口の増加**を目指し、新たな人の流れを創出するとともに地域との関わりを持つ人材を確保していきます。

施策

- 1 農林水産業の振興
- 2 商工・観光業の振興
- 3 起業・創業活動等への支援

みんなで連携して南大隅町の産業を盛り上げていこう！

豊かな自然環境や食、歴史文化、生き生きとした暮らしを観光につなげて南大隅町のファンを増やそう！

基本目標2

誰もが健康で安心して「暮らし続けたい」と思うまち

- 深刻化する少子高齢化と人口減少の中で、乳幼児から高齢者まですべての町民が、住み慣れた地域で、自分らしく元気に安心して生き生きと暮らせるよう、**保健・医療・福祉サービスの充実**を図り、さらに、出産・子育てに係る経済的負担の軽減を図り、**地域が一体となって子育てを支援**する仕組みを推進します。
- 高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう大隅半島の各市町と広域連携しながら、町民・地域・行政が一体となって**助け合い支え合う仕組みを構築**し、誰もが本町に「暮らし続けたい」と思うまちづくりを進めていきます。

施策

- 1 健康づくり・医療の充実
- 2 出産・子育て支援の充実
- 3 高齢者福祉の充実
- 4 障がい者福祉の充実
- 5 地域福祉の充実

結婚や出産、子育てしやすいまちにしよう！

みんなが自分らしく元気に安心して暮らせる地域にしよう！

基本目標 3

ふるさとを誇りに思い、未来を見据えて学び続け、誰もが幸せを感じられるまち

- 南大隅町で暮らすことに誇りと愛着を持ち、ともに助け合いながら**今後の南大隅町を支える「人づくり」**、またそれを支えていく**「地域づくり」**に取り組んでいきます。
- 生涯を通じて学び、町民の一人ひとりが自分らしく生き生きと活躍できる地域社会を構築するため、性別、年齢、国籍、障がいの有無などを問わず、**未来を見据えながら多様な活動に参画し、挑戦できる環境を整備します。**
- 郷土の自然や歴史・伝統文化及び先人の知恵や技を本町の**大切な財産と位置付け、これを保存・継承**するとともに、地域や社会の活性化に活かしていきます。

施策

- 1 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
- 2 社会で自立する力を育む教育の推進
- 3 地域とともにある学校づくりの推進
- 4 地域全体で子どもを守り育てる環境づくりの推進
- 5 スポーツ・文化の振興

すべての子どもたちが輝ける環境を整えていこう！

スポーツや運動を
楽しめる機会を増やそう！
歴史・文化を伝えていこう！



基本目標 5

多様な主体と協働し、時代を先取りする行政経営を目指すまち

- 地域における住民、NPO、企業等の民間主体による活動形態が多様化・高度化し、公共的価値を含む領域の範囲が広がってきています。このような潮流を踏まえながら、**多様な主体による地域経営や地域課題解決のシステム構築に向けた活動環境を整備**します。
- また、削減や効率化といった「量」の改革から、職員の生産性向上や行政情報の効果的な発信、官民連携の推進、周辺自治体との連携強化、公共施設の機能の充実といった、「**質を高める**」改革に重点を置くとともに、デジタル化の推進や中間支援組織の育成など、**時代を先取りした行政経営**を目指します。

施策

- 1 町民参加と協働の推進
- 2 地域コミュニティの充実
- 3 行財政改革の推進
- 4 人権尊重・男女共同参画の推進

みんなで一緒に地域の課題を解決していこう！

デジタル化や連携で町民サービスを向上させよう！



基本目標 4

安全・快適で、誰もが「暮らしたい」と思うまち

- 本町の誇りであり財産でもある**自然環境を保全・活用**するとともに、道路、住宅、公園、海岸など、**まちの景観を形作る要素について必要な改修・整備**を行います。
- 本町に定住する人々が快適に暮らせるように、**道路整備や合併浄化槽等の設置、生活利便施設の整備**を推進するとともに、町民の安全な暮らしを確保するため、**消防・防災対策・防犯や交通安全対策の充実**を図り、町民のみならず、訪れた人がこの町に「暮らしたい」と思うようなまちづくりを目指します。

施策

- 1 道路・交通基盤の整備
- 2 環境保全と循環型社会の形成
- 3 生活基盤の整備
- 4 消防・防災体制の充実

快適で安心して暮らせる
インフラ整備を進めていこう！

みんなで助け合いながら
災害に強いまちにしよう！



重点戦略（地方創生総合戦略）

本総合振興計画に包摂される「南大隅町デジタル田園都市国家構想総合戦略・人口ビジョン」（令和7～11年度）では、進行する人口減少・高齢化社会でも持続可能なまちづくりを進めていくための取組をとりまとめています。総合戦略の4つの基本目標（プロジェクト）とそれに紐づく施策を重点戦略として位置づけ、人口減少対策・地方創生の取組をさらに推進していきます。

地域ビジョン（目指す姿）
誰もが生き生きと輝き、
ともに成長する
本土最南端のまち・南大隅町

まちづくりの3つの基本理念

デジタル技術の活用

町内外の連携推進

- ① 産業を育成し、経済の好循環を図る
～南大隅町で働くプロジェクト
- ② 資源を活かし、関係・交流人口を増やす
～南大隅町に呼び込むプロジェクト
- ③ 安心して子育てができる環境を整備する
～南大隅町で育てるプロジェクト
- ④ 町民の暮らしを守り、地域コミュニティの活性化を図る
～南大隅町で暮らすプロジェクト



南大隅町
第3次総合振興計画
概要版

編集・発行 南大隅町 企画観光課
〒893-2501 鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北 226
TEL 0994-24-3111(代表) FAX 0994-24-3119